



いしべっ子の目標を レベルアップします

校長 谷口 茂雄

◆静かに入場・静かに退場

「比較的静かに聞ける」というのが、昨年度着任したときの石部っ子の印象でした。それが今では、「かなり静かに聞ける」に高まってきました。（音楽会での聞く態度がそうでした。）

そこで、1月7日の朝、学級担任の先生方と「静かに入退場する」ことを打ち合わせました。（今までの入退場は、そんなに静かではありませんでした。）

朝に打ち合わせをただけで、びしっと指導が入るのが石部小学校のよいところ
です。非常に静かな三学期の始業式になりました。



◆考えて聞く

聞く態度がよくなったと言っても、ただ静かに聞いておればよいというわけではありません。これからの聞く力としては、

- ① 話し手は、どんな話題で話したか。
- ② その話題で、話し手は結局何が言いたかったのか。
- ③ 話し手が言いたかったことについて、自分はどう考えるか。

という「考えて聞く力」が求められます。

この力を高めるために、集会の後で「校長

先生のお話を聞いて」という、抜き打ちテストをしてきました。その結果、聞く態度も聞く力も少しずつ高まってきたわけです。



今年の始業式からは、聞く力の「②・③」を更に高めるために、高学年向けのテスト用紙をバージョンアップしました。

◆廊下は歩く

「普通の子どもは廊下を走る。石部小学校の子どもは、みんなよい子どもになってほしいので、『廊下は歩く』と言い切ろう！」と話しました。

バージョンアップした聞くプリントに、

これからの学校は、姿勢を正しく、目標をはっきりと言って、ろう下を走らない、すばらしい学校になればいいと思いました。

ろう下は普通の子は走ると言っていたけど、石部の子は走らないと言っていたので、校長先生は私たちがすごい信用してるんだな～と思いました。

と自分の思いを書いています。

「廊下を歩く」ためには、子どもの自覚が不可欠です。レベルアップした目標に取り組

ませたいと思います。

「子どもの自覚を高める」

ことを指導のポイントにしています

◆通学路安全点検



子ども安全リーダーの方にも付き添ってもらい、子どもたちが自分の目で危険な箇所を見つけ、「自分の安全は、自分が守る」ことを自覚させるために、通学路の安全点検を年3回行いました。

3学期に行ったこの日は、石部交番からもパトカーを出してくださいました。

来年度は、自転車の乗り方についても、家の近くの道路等を使って、実際に近い形で実施したいと考えています。

◆避難訓練



県で1台の起震車体験

避難訓練での評価のポイントを、子どもたちに明らかにしています。気をつける点を自覚して訓練に参加させるためです。

①真剣にやっているか ②教師の指示に従っているか ③5分以内に集まれるか の3観点で、点数も発表しています。

3観点での昨年度からの点数は、75点 → 90点に向上し、集合にかかる時間も5分08秒 → 3分46秒と早くなっています。これくらいになれば、抜き打ちでの訓練ができそうです。



11/19 子ども安全リーダー「安全教室」



12/18 あすくる「着ぐるみ劇」

子ども安全リーダーの方や、あすくるの指導員さんには、様々にお世話になり、子どもたちに安全への自覚を高めていただいています。ありがとうございます。

今年も「夢せんせい」にお世話になりました



日本サッカー協会の事業として、MIOびわこ草津から、東広樹コーチと石澤典明選手が「夢せんせい」として来校し、5年生の子どもたちに、成功や挫折の体験を語ってくださいました。

◎盛り上がりと集中の区別がしっかりできて、子どもたちの態度がとってもよかった。

◎誰とでも手をつなぐことができ、男女の仲がよい。

とは、「夢せんせい」の石部小5年生への評価。話が終わってからも、昼ご飯も食べずに、一緒

にサッカーをしてくださいました。子どもたちが本物から学ぶことを期待しています。
